

上尾市水道事業では、近年頻発する大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に重点を置いた「実動班」を、令和2年3月に編成しました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

今回は、実動班の再編成と4月、5月に行った訓練内容について報告します。

災害派遣の経験を踏まえて実動班を再編成しました

災害派遣を経験して…



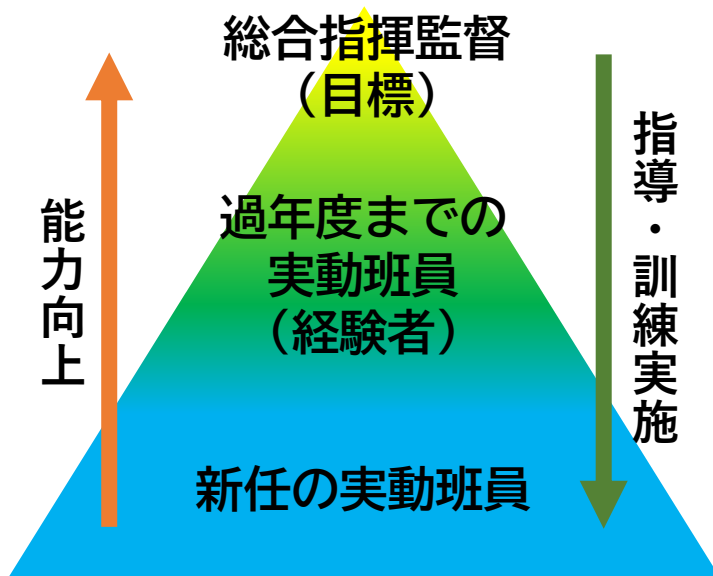
第2次派遣 出発式

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震によって断水被害を受けた地域に向け、上下水道部から給水車と職員を派遣し、応急給水活動に従事しました。（計2回 職員総勢8人）

被災地での活動を通じ、これまでの訓練成果を実感する一方、緊急時には多くの職員が対応できる体制づくりが必要不可欠であることを認識し、体制強化と訓練方法について検討しました。

新体制の構築

令和6年度は実動班を下図のとおり再編成し、上尾市水道事業に携わる全職員を対象とすることで、緊急時における現場対応力の底上げを図ります。



【変更点】

- ・ 訓練対象者は、水道事業全職員
- ・ レベルに応じた講習会の実施
- ・ 経験者による新任者への指導



4月25日 新任者への実動班説明会

図1. 令和6年度実動班編成イメージ

新任実働班員を対象として給水車操作訓練を実施しました

令和6年5月16日、新任実働班員を対象とした給水車操作訓練を実施しました。給水車の活用は、災害や事故などによって断水した地域へ応急給水を行うための有効な手段となります。

今回は、令和6年能登半島地震の被災地において給水車による応急給水活動に従事した5名を指導者とし、総勢23名で訓練を行いました。（受講者を午前と午後に分けて2回実施）



1. 応急給水訓練の全体説明



2. 給水車の運転訓練



3. 給水車へ飲料水を注水



4. 給水袋を利用した飲料水の配付

不断水穿孔訓練を実施しました

令和6年5月2日、9日、不断水穿孔訓練を行いました。不断水穿孔とは、断水を行わずに水道管を分岐する作業のことで、工事業者への適切な指導や非常時の応急給水拠点の立上げが可能となります。

今回は、過年度までの実働班員を対象として、2人1組で計4組（計8名）の訓練を実施しました。



穿孔機による水道管分岐作業（φ75）



分岐管（割丁字管）



水道管分岐作業（φ50）

《その他訓練》

5月30日、水道管内の濁水を除去する管洗浄実技訓練を実施しました。